　　伊勢物語　芥川

〔　〕次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。　　【発展問題】

　昔、男ありけり。女のえまじかりけるを、年を経てよばひわたりけるを、からうじて盗みでて、いと暗きに来けり。といふ川て行きければ、草の上に置きたりける露を、「かれは何ぞ。」となむ男に問ひける。行く先多く、夜もけにければ、鬼ある所とも知らで神さへいといみじう鳴り、雨もいたう降りければ、あばらなる蔵に、女をば奥に押し入れて、男、弓・を負ひて戸口にをり、はや夜も明けなむと思ひつつゐたりけるに、鬼はや一口に食ひてけり。「あなや。」言ひけれど、神鳴る騒ぎにえ聞かざりけり。やうやう夜も明けゆくに、見れば、率てし女もなし。足ずりをして泣けどもかひなし。

　　白玉か何ぞ人の問ひし露と答へて消えなましものを

問一　傍線１・３の主語として最も適切なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

　　　①　男　　②　女　　③　鬼

問二　傍線２「神さへいといみじう鳴り」を「さへ」に注意して、口語訳しなさい。

問三　傍線４は何を「え聞かざりけり」だったのか。答えなさい。

問四　傍線５「人」が指す人物として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　　①　男　　②　女　　③　鬼

問五　「白玉か……」の歌について、次の問いに答えなさい。

　　（１）傍線６「露」の縁語を指摘しなさい。

　　（２）傍線６「露」がイメージしているものとして最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　　　①　悲しみ　　②　冷たさ　　③　淋しさ　　④　はかなさ

問六　波線部の記述と、この「女」が「草の上に置きたりける露」を何であるか知らなかったことを合わせてみると、この「女」はどのような女性と考えられるか。最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　　①　身分が低くて、あまり出歩く機会がない女性。

　　　②　身分が高くて、世俗から隔離されて育った女性。

　　　③　身分が低くて、周りのことを気にしすぎる女性。

　　　④　身分が高くて、自分以外のものに興味がない女性。